

Love Library Letter (LLL) はLibrary Workshopの広報誌です
Library Workshopとは学生が中心となって
図書館をサポートする活動を行っている団体です

Library Workshop News

絶賛計画中! 「一人展示」とは...?

ライブラリーワークショップでは、これまで、テーマに沿って「おすめの本」の展示を行ってきしたが、今度の企画は一味違います! メンバー全員で1つのテーマに取り組むのではなく、1人が1つのコーナーを受け持ち、テーマ設定から本のセレクト、ディスプレイまで、すべて手掛けた「展示のワンマンショー」を繰り広げるのが、今回の「一人展示」です。



▲企画会議の様子。
今日もここから新しい何かが生まれています。

展示場所は、図書館(常設)すぐ。柱を囲むように4つスペースが4人の作り手が切磋琢磨して展示を仕上げ見られるかも? 2月中旬以降に開始予定
4つの棚を見比べて、お気に入りの本をたくさん見つけてぜひ借りて行って下さい
(R.T)

1階入ってあるので、様子が見えます。皆様、

今月の1冊
館島東川篤哉

異能の天才建築家+文字和臣が造った4階建ての別荘。その別荘が彼の遺作となる。彼はその別荘の中で死体となって発見されたのだ。死因は墜落死。しかし、墜落現場は見付からなかった。

彼の遺作といえ、大建築物にしてみれば、紹介してみようと思う。この建物はずいぶん奇妙な構造をしている。上から見ると正六角形の開きをしている。建物の中には大の大人が2人寝転ぶことができて、なんと部屋の広い螺旋階段。その周りを取り囲む内廊下。各辺に面した形で配置されている台形の6つの部屋。2階4階までは、全てこのような構造をしている。ただし、1階だけは正面玄関があるため、部屋数は5つである。そして、建物の屋上には展望室があり、外から見ると屋上だけドーム型に見える。

**事件の真相は?
建物の構造の意味は?**

これにだけ登場人物のキャラがいまほしくいって!
1度読んでみてください
(Y. Nomura)

この言葉に出会った瞬間ハッとさせるような、そんな言葉で読んだ。

心に残る名言

「行っていないだけで、思っていないだけで、思っていないだけで、思っていないだけで。」

1俳優 伊勢谷友介さん一緒に。

貸出ランキング

～小説部門～

- 1位 虚像の道化師 / 東野圭吾
- 2位 禁断の魔術 / 東野圭吾
- 3位 真夏の方程式 / 東野圭吾

BEST

～新書部門～ 3

- 1位 ことばと国家 / 田中克彦
- 2位 在日外国人 / 田中宏
- 3位 生きる悪知恵 / 西原理恵子

さて、今年のLLL第2号の小説部門・新書部門はご覧のとおり！小説部門第1位『虚像の道化師』は先月3位からさらにランクアップ！3位まで全て東野圭吾氏のガリレオシリーズが独占しています。（1月28日調べ）やはり人気は健在ですね（＾＾）☆ [Sogabe]

column

図書館 フリートーク

人に本を勧めるのは、なかなか難しい。読書は強制するものではないと思い、長年本の勧め方を試行錯誤してきたので、いくつかご紹介する。まずはロコミ作戦。面と向かって勧められるとやはり説得力がある。次は「背表紙」作戦。研究室の本棚にどの本を並べておく。背表紙をいつも目にしていくつか読みたくなるもの。三番目は「読むな」の作戦。「見るな」と言われれば見たくないと試してみる。そして、あえて読んではいけないと言ってみる。もう一つ、まずは自身がおもしろがって読むということ。やはりこれがもっとも雄弁に周りの人々に読書の魅力を伝えるようだ。仕事柄、本を勧める人間として、忘れないでいたいことである。

総合科学部教授 依岡隆児



こんにちは☺

ライブラリーワークショップの正木麻由です。去年の夏頃からLWに参加するようになり、半年。展示やポスター・LLLの制作などに携わってきました。元々、本を読むことが好きだったので本好きが多く集まるLWの会議はすごく楽しいです!!

私の図書館おすすめスポットは、3F窓際の個人学習スペースです。大学構内でいちばん集中でき、いちばん落ち着く場所です。図書館で流れる時間は外でいるときよりゆくりと流れている気がします。みなさんぜひ図書館を積極的に利用してみてくださいね♡

Library Workshop メンバー紹介

Post Script

先月号とは打って変わって今月号は1年生が多く登場(1号となり)

まして、一年生らしいフレッシュな新聞に出来上がりました。

もう2月となり、3月そして新学期は目の前です。今(12月)からライブラリーワークショップの中心となる。ぜひ、新入生の加入を楽しみにこの頃です。春が待たせたいです。
*ライブラリーワークショップは随時メンバーを募集しています!! (w. OMOBA)

連絡先: 徳島大学附属図書館カウンター Tel:088-656-2157 / m-sien@lib.tokushima-u.ac.jp

